

人や暮らしを守る 厚生労働人



© logistock - Fotolia

厚生労働省には、どのような仕事があるのでしょうか。
専門的な職種に就いている人たちを紹介します。

【第7回】

栄養系技官

厚生労働省健康局健康課
栄養指導室 室長補佐
(兼任) 老健局老人保健課

塩澤 信良さん

ライフステージごとの 栄養課題に科学的知見から 立ち向かう

撮影／羽切利夫

生活習慣病やフレイル対策が 栄養行政の課題

栄養系技官は、管理栄養士の資格を持つ厚生労働省の技術系職員です。1930年代から栄養行政を担っています。

日本の栄養行政は戦前から始まっています。当時は、栄養失調対策という大きな課題がありました。これは戦後もしばらく続いていた。このときに栄養状態の改善を担当していたのが、現在の栄養系技官です。だんだんと戦争の影響がなくなり、栄養改善が図られていくと、次いで成人病の問題が出てきました。現在では生活習慣病と呼ばれ、その改善が栄養行政の課題の一つとなっ

塩澤さんの1日

9:30	登庁
10:00	資料作成
12:00	昼食
13:00	関係者との打ち合わせ
15:00	研究事業の打ち合わせ、 資料作成
18:15	退庁

ています。

また、超高齢社会の進展に伴い、低栄養からのフレイル発生^注など、高齢者の栄養課題も生じています。このように、さまざまな世代がそれぞれ栄養の課題を抱えているのです。

栄養系技官は、現在23人おり、これらの課題を解決するため、科学的知見に基づく研究・調査・検証を行い、栄養施策を企画・立案しています。厚生労働省のほか他省庁、研究機関でも活躍しています(※**図み参**照)。

厚生労働省では「国民健康・栄養調査」などの調査・研究を実施したり、「日本人の食事摂取基準」を改定したりしています。管理栄養士や栄養士、調理師などを養成する仕組みの維持・見直しも担当しています。

栄養系技官になるには、厚生労働省で試験を受けなければなりません。管理栄養士の資格を持つことが必須条件になります。試験では、論理的な思考ができるかなどの資質も問われます。求められる管理栄養士としての業務の経験年数は、役職ごとに異なります。

^注 フレイル: 加齢とともに、心身の活力(筋力や認知機能など)が低下し、生活機能障害、要介護、そして死亡などの危険性が高くなった状態のこと

① 消費者庁



どんな仕事してるの？

栄養系技官は厚生労働省で採用された後、厚生労働省のほか他省庁・研究機関に出向する場合があります。各出向先でも、同省と同様に専門の知識・知見を活かして活躍しています。

消費者が主役となり、安心して暮らせるように、食品表示に関する基準などを定めています。

② 農林水産省



食育の推進に取り組んでいます。食育基本法に基づき、推進施策の進捗状況の調査なども行っています。

③ 研究機関



厚生労働省で行った健康や栄養に関する調査の集計・分析、情報提供を行います。(右: 質疑に応じる栄養系技官)



8年目の塩澤さんに聞く！

Q1. 栄養系技官をめざしたきっかけは？

A1. 一般企業での勤務を経て、栄養学を学ぶために大学に入り直しました。管理栄養士の資格を取得した後、大学院では病院に勤務しながら、栄養に関する研究をしていました。大学院修了後、大学教員となりましたが栄養系技官の道を知り厚生労働省に入省し、現在に至っています。

Q2. この仕事の魅力を教えてください。

A2. 現場の声を大切にしており、制度をつくる際も、つくった後も現場の人たちと交流して、多くの意見を聞いています。現場から反応を得られること、喜んでもらえることが、やりがいであり、この仕事のおもしろさです。また、栄養業界の第一線で活躍する人たちに会えるのも、栄養系技官として働く魅力です。

Q3. 今後の目標を教えてください。

A3. 栄養に関する施策をつくり、よりよい社会につなげることが私たちの役割だと思っています。課題の抽出や実態の調査はもちろん、消費者、栄養業界の人、学識者などの意見を踏まえ調整しながら、活用してもらええる制度をつくっていきますが、制度はあくまで手段です。それを活用して、現場の人が働きやすくなり、国民により健康になってもらいたいです。

複雑多岐にわたる仕事に 欠かせない逆境力

健康局健康課栄養指導室で室長補佐として勤務している塩澤信良さんは、2011年に入省し消費者庁への出向を経て2015年から再び厚生労働省で活躍しています。消費者庁では栄養成分表示の義務化や表示基準の策定、機能性表示食品制度の創設に携わり、厚生労働省では診療報酬や介護報酬の栄養案件の改定にも関わりました。そのうえで、栄養系技官の姿勢について、こう話します。

「私たちは、関係者の意見を広く聞いたり、国内外の調査結果を調べたりして、栄養施策を企画・立案しています。研究や調査、専門職や消費者との調整など、複雑多岐にわたる仕事に取り組むには、科学的知見やバランス感覚に加えて、難局に直面しても柔軟な思考でそれを突破していく逆境力が必要です」

栄養行政は日々、さまざまな変化を遂げています。栄養系技官は子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージで想定される栄養・健康課題に、研究や調査、検証を重ねながら、懸命に取り組んでいます。